



国民の森林・国有林

中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎(026)236-2531

<http://www.chubu.kokuyurin.go.jp/>

広報

中部の森林



春を待つライチョウの夫婦（左オス・右メス）

[写真提供：有井寿美男（指導普及課）]

主な項目

- 年頭に当たって「国民の森林をめざして」 2頁
- 希少野生動植物種保護管理事業について 3頁
- 2004年主な出来事 4～5頁



年頭に当たって

「国民の森林」をめぐりして

中部森林管理局長

関 厚

明けましておめでとございます。

皆様におかれましては、健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、国有林の集中改革期間が終了し、新しい中部森林管理局が船出をした記念となる年でした。

これまでの間、職員の皆様には多大なご労苦をいただいたことに対して、改めて感謝する次第であります。

さて、管内の国有林は「日本の屋根」といわれる日本アルプスをはじめ、地形が急峻な脊梁山脈や河川の源流域に多く分布し、国土の保全・水源のかん養、自然環境の保全等、私たちの生命や暮らしに欠かすことのできない多くの働きをしています。さらに、木曽松、東濃松、カラマツのふる里でもあり、多くの林業地をかかえております。

これらの森林が与えてくれる多くの恵みを生かすため、次の取組を推進してい

くこととしています。

一 水の交流

管内には木曽川、千曲川、神通川、天竜川等の我が国有数の河川があり、上下流域の関係者の連携による森林整備が行われています。特に、愛知用水等の水源でもある木曽川流域における全国初の「森林整備協定」などの取組があります。国土保全・水源かん養に果たす森林の役割を多くの方々にご理解をいただき、交流をすすめていきたいと考えております。

二 木の交流

長野県木曽地方から岐阜県東濃地方南東部は、「木曽松」、「東濃松」の産地であり、中京圏は古くから木材の大集散地です。このため、中京地区と情報交換を行うつつ、消費者や木材関連業界のニーズを取り入れた木材の生産・販売等の調整を行うとともに、木材需要の動向や業界の将来展望を踏まえた対応を検討するこ

ととしています。

さらに、近畿中国森林管理局と連携し、木曽ヒノキや高齢級ヒノキ人工林材等銘木の情報を共有することにより、歴史的かつ伝統的な建造物を視野に入れ、広域的な販売をすすめていくこととしています。

また、この地域の有するカラマツのすぐれた特徴及び技術を活用することとしています。

三 人の交流

管内には森林とのふれあいや森林整備等に参加する地域や個人・各種団体等が多く存在し、様々な活動を推進しています。現在、森林セラピー、山菜という森林についての新たな視点からの取組が始まっています。これらに参加している方々や今後参加したい方々とともに、水と人を通じた上下流域の連携に取り組んでいくこととしています。また、日本百名山のうち三十六座を有しており、登山者を含めた多くの方々といろいろな取組を考えているところであります。

年頭にあたり、所感の一端を申し上げたところですが、本年が災害のない明るい職場であることを願い、職員のご家族ともども皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。



今年は何年

希少野生動物種保護管理事業について

〔指導普及課〕現在、中部森林

管理局では、希少野生動物種保護管理事業として、国有林における、ライチョウ、イヌワシ、アツモリソウの保護に取り組んでいます。

今年の干支「酉年」にちなみ、管内のライチョウ、イヌワシの保護管理事業を紹介します。

ライチョウ保護管理事業

ライチョウ保護管理事業は平成五年度から実施しており、今年度は、北アルプスの「朝日岳」、「白馬岳」、「双六岳」、「穂高岳」等の山塊周辺と「乗鞍岳」、「御



夏のライチョウ (オス)

岳」で実施しています。

実施主体として、富山森林管理署、中信森林管理署、飛騨森林管理署が事業を受け持ち今年度は、

① 自然保護管理員等による保護巡視、生息確認、登山者への指導等

② 五竜岳周辺において生息調査を実施し、二十年前の調査結果との比較分析

③ ライチョウの依存度の高い高山植物の植生復元

④ パンフレット等による保護啓発

イヌワシ保護管理事業

イヌワシ保護管理事業は平成六年度から実施しており、営巣箇所のある長野県長門町において、東信森林管理署が事業を受け持っています。

今年度は、
① 繁殖期に営巣箇所を中心に保護巡視、繁殖行動の確認

② 小動物の繁殖箇所として、林道の法面、間伐により開設



ノウサギを捕獲したイヌワシ

③ 空閑地を小動物がどのよう
に活用しているかを検証する
ため、小動物の生息調査

④ パンフレット等による保護啓発

等の事業を行っています。

中部森林技術交流発表会の開催について (お知らせ)

中部森林管理局では、国有林・民有林・大学・NPO等が日頃から取り組んでいる森林・林業に関する試験研究、林業体験活動の取組内容について発表し、関係者の交流を深めるとともに、更なる森林・林業の推進とこれら成果の普及に資するため、中部森林技術交流発表会を下記のとおり行います。

記

- 1 日時 平成17年2月3日(木) ~ 4日(金)
- 2 場所 長野市大字栗田715-5 中部森林管理局 大会議室
- 3 担当 指導普及課 (電話026-236-2623)

今年、3月25日から9月25日までの間、「自然の叡智」をテーマに愛知県長久手町、瀬戸市を会場として「愛・地球博」(愛知万博)が開催されます。

中部森林管理局においても、昨年11月7日にプレ事業として「瀬戸の森づくり植樹体験会」に参加をしています。

「愛・地球博」が開催されます。

21世紀万博「愛・地球博」 —2005年3月25日開幕!

地球の輝かしい明日のために、私たちの夢の実現のために、初めての試みを満載した21世紀万博の扉が開きます。世界中のすべての人々の知恵とチカラをひとつに集結して、豊かな未来社会を創り出す一大ムーブメントを繰り広げます。みなぎる情熱、こぼれる笑顔、あふれる感動…躍動感に満ちたエネルギーあふれる姿がここにはあります。そして、このステージの主役となるのは、優しい心で結ばれた私たち一人ひとりで。



愛・地球博の全体概要

■名称 正式名称:2005年日本国際博覧会 略称:愛知万博(EXPO 2005 AICHI, JAPAN) 愛知・愛地球博(EXPO 2005 AICHI, 2005)

■テーマ 「自然の叡智(Nature's Wisdom)」

■開催期間 2005年3月25日~2005年9月25日(185日間)

■開催時間 ①/北パビリオンの公開時間は下記とは異なります。 2005年3月25日~4月25日 長久手会場 9:30~21:30 瀬戸会場 9:30~17:30 2005年4月26日~7月19日、8月1日~25日 長久手会場 9:30~22:00 瀬戸会場 9:00~19:00 2005年7月20日~8月31日 長久手会場 9:00~22:00 瀬戸会場 9:00~19:00

■開催場所 名古屋東区長久手町・豊田市、瀬戸市

二〇〇四年 主な出来事

◆1月◆

- 15 千曲川上流計画区の地域別の森林計画を公表(中部局)
- 22 森と緑の研究会交流会を開催(名古屋分局)
- 28 法人の森林「カロン・ラインの森」でダイドードリンコと分収林契約を締結(中部局)



「カロン・ラインの森」を調印

◆2月◆

- 3 流域管理推進会議を開催(名古屋分局)
- 4 流域管理推進会議を開催(中部局)
- 9 治山・林道工事コンクール表彰式(名古屋分局)
- 17 中日造林賞贈呈式(名古屋市内)
- 20 長野林政記者クラブ賞贈呈式(長野市)

◆3月◆

- 16 庄川計画区・揖斐川計画区地域管理経営計画を公表(名古屋分局)
- 25 治山・林道工事コンクール表彰式(中部局)
- 26 千曲川上流計画区地域管理経営計画を公表(中部局)
- 31 暫定事務所等を廃止
〈廃止事業所等〉
名古屋分局
森林技術第一センター
南信森林管理署 飯田事務所
駒ヶ根森林管理センター
木曾森林管理署 王滝事務所
岐阜森林管理署 岐阜事務所
庄川事務所

◆4月◆

- 1 新たな中部森林管理局がスタート
・新たな組織を開設
名古屋事務所
木曾森林環境保全ふれあいセンター
伊那谷総合治山事業所
広報紙「中部の森林」を創刊



名古屋事務所



木曾森林環境保全ふれあいセンター

◆5月◆

- 2 木曾森林環境保全ふれあいセンター開所式(長野県日義村)
- 4 「春姫道中」に参加(名古屋市内)
- 6 伊那谷総合治山事業所開所式(飯田市)
- 15 森林管理署長等会議を開催(中部局)
- 22 平成十六年度業務予定を記者発表(中部局)
- 29 緑の募金で街頭募金(長野市)
- 29 岐阜県みどりの祭り(美濃加茂市)

◆6月◆

- 1 森林を育てる集いを開催(長野県軽井沢町)
- 16 越美山地緑の回廊現地調査(岐阜署管内)
- 22 富山県林政協議会総会(富山市)
- 24 永年勤続職員表彰式を開催(長野市)
- 29 国有林野観光施設協議会総会を開催(長野市)
- 29 愛知県植樹祭(飯山市)
- 28 長野県植樹祭(飯山市)
- 26 とやま森の祭典(富山県利賀村)
- 26 遊々の森「探求の森」協定を締結(南信署管内)
- 26 沢自然休養林
- 26 森林セラピー研究会現地検討会(赤沢自然休養林)
- 22 木公園
- 17 「第二十一回森林の市」(東京都代々木公園)

◆7月◆

- 2 民有林直轄全体計画調査検討委員会の開催(中部局)
- 6 裾花川地区民有林直轄治山事業の概成式(長野県鬼無里村)
- 7 高山植物等保護管理協議会を開催(中部局)
- 12 板取川地区民有林直轄治山事業起工式を開催(岐阜県板取村)



森林を守る集いで植樹をする参加者

◆6月◆

- 1 森林を育てる集いを開催(長野県軽井沢町)
- 16 越美山地緑の回廊現地調査(岐阜署管内)
- 22 富山県林政協議会総会(富山市)
- 24 永年勤続職員表彰式を開催(長野市)
- 29 国有林野観光施設協議会総会を開催(長野市)
- 24 森と湖に親しむ集い(富山県宇奈月町)



関係者で記念の標柱を設置



中規模噴火をした浅間山 [上原義明氏 (OB) 提供]

31 顔の見える木材での家づくり「木曾ヒノキの家」見学ツアーを開催(木曾署管内)

◆8月◆
3 ヒメバラモミ検討委員会を開催(中部局)

3 国有林所在市町村有志協議会を開催(高山市)

4 教職員森林・林業体験学習研修会を開催(南信署管内)

5 森林環境教育研究会を開催(瀬戸市)

26 国有林野管理審議会を開催(中部局)

◆9月◆

1 浅間山が中規模噴火

2 森林官養成科の関東・中部ブロック研修を実施(中部局9/2~10/7・関東局9/27~10/29)

2 森林施業現地検討会を開催(飛騨署管内)

7 森林官会議(首席・上席)を開催(中部局)

13 「木の文化のつどい」シンポジウム(岐阜市)

◆10月◆
8 「裏木曾古事の森」協議締結式を開催(東濃署管内)



「古事の森をつくろう」と講演される立松和平氏

13 販売協力者感謝状贈呈式を開催(長野県上松町)

15 全国優良銘木展示即売会(岐阜県銘木)

18 森林管理署長等会議を開催(中部局)

20 「関田トレイル」協定締結式を開催(新潟県板倉町)

20 電子入札実証実験(東信署)

20・21 台風23号が管内を通過(長野・岐阜県で、林道、治山施設、庁舎等に被害が発生)

21 越美山地緑の回廊検討会を開催(近畿中国局福井署)

23 新潟県中越地震発生



ブナ林をめぐる関田トレイル

23 未来世紀へつなぐ緑のバトン(長野県王滝)

24 長野県西部地震対策二十周年祈念式典を開催(長野県王滝村)

◆11月◆
2 「城山史跡の森」の活動協定締結式(長野県木曾福島町)

6 顔の見える木材での家づくり「木曾ヒノキの家(第3号)」の見学ツアーII(長野市内)

8 新潟県中越地震の被害点検に職員を派遣(11月22日までに12名を派遣)

11 ボランティアネットワーク会議を開催(岐阜署管内)

12 全国優良素材展示会・全木連主催(愛知県大口町)

15 馬場島荘竣工式(富山県上市町)

19 国有林野等所在市町村長有志連絡協議会を開催(松本市)

24 指導普及連絡協議会を開催(瀬戸市)

◆12月◆

7 関係国立公園事務所と中部地方連絡会議を開催(南信署管内)

22 国有林の地域別の森林計画等検討会を開催(中部局)

昨年実施した森林とのふれあい体験事業

○NCF(名古屋シティフォレスト)事業

5/14 防風林整備(富山署管内)

5/22 6/13 8/28 見本林整備(愛知所管内)

6/23 下刈り(富山署管内)

7/25 9/11 下刈り(愛知所管内)

8/6 パトロール(飛騨署管内)

10/2 除伐(東濃署管内)

10/16 歩道整備(森林技術センター)

10/29 枝打ち(東濃署管内)

11/23 間伐(岐阜署管内)

○森林倶楽部

7/22 北アルプス八方尾根の高山植物を訪ねて(中信署管内)

8/25 千曲川源流と甲武信岳を訪ねて(東信署管内)

10/2 木曾ヒノキの美林を訪ねて(木曾署管内)

11/7 檜皮の森と田立の滝を訪ねて(南木曾支署管内)

○森林ふれあい講座

4/29 森の散策会(愛知所管内)

5/29・9/20 森の音楽会(〃)

6/12 ホタル観察会(〃)

8/22 木工クラフト(〃)

10/17 竹炭づくり(〃)

11/28 リースづくり(〃)

「木曾のヒノキの家 見学ツアー」

第三号住宅松代町に完成

【販売課】「木曾のヒノキで家をつくる会」(巾恒美会長)の今年度第二回目の企画となる「木曾のヒノキの家見学ツアー」が十一月六日、長野市松代町で開催され、会員ら約三十名が参加しました。

当日、城下町松代に集合した一行は秋晴れの下、徒歩で第三号目の住宅となる杭全(くまた)邸へと向かいました。



第3号住宅の杭全邸の外観

敷地約八十坪の土地には、まだ完成して間もない屋移りを終えたばかりの、城下町松代に相

応しい気品漂う木造和風住宅が建っていました。古い町並みにマッチした伝統的な木造軸組み工法で敷地面積は百二十三[㎡]、二階建てで床面積は二百[㎡]約六十六坪、木材の使用量は約二十五[㎡]で、うち木曾のヒノキの使用量は十[㎡]と四割を占め、土台、柱、和室の内法材、玄関ホール、廊下、内装材等随所に使用されています。

施主の杭全氏及び施工業者の説明によると、この住宅は過去に体験した松代群発地震を教訓とし、地震などの災害に強く長持ちをする家を建てたいとの願いから、木は木曾のヒノキ、サワラを使用し、屋根は三州陶器瓦、壁は京壁の左官仕上げ、基礎はベタ基礎、有節鉄筋、床下の換気はパッキン工法仕上げとし、夏は涼しく、冬は暖かく、更には高齢者や幼児達が安全で健康、快適に暮らせるように最大限の配慮をしたことでした。

特に地震に関しては、十月二十三日に発生した新潟県中越大地震の際も殆ど揺れを感じず、テレビで地震の大きさを知ったとのこと。以前の家からは想像もできない耐震・耐久構造にご



県産材をふんだんに使用した内装(玄関)

本人も大変驚かされていました。一步玄関を入ると、心落ち着くヒノキの香りが一面に漂っていました。ご好意により既に生活をされているにも拘わらず殆どの部屋を見学させていただきました。参加者からは和風住宅の落ち着きと風格、また内装の木材使用量の多さに感嘆の声が上がっていました。住宅の形は違えども一号の巾邸、二号の平塚邸同様に木に対しての拘りが随所に見られ、「顔の見える家づくり」が掲げる「本物の木」の良さを改めて実感することができました。

昼食を挟んで午後からは長野県木造住宅協会の会長である小林正幸氏による改正建築基準法に基づく「シックハウス対策」

についての勉強会を行いました。その後、松代町の歴史的な建造物である松代藩文武学校をはじめ、松代城、武家屋敷の門等を見学し帰途につきました。

大学生が「じょうこうじ 響きの森」を見学

【名古屋事務所】十一月二十六日、愛知工業大学工学部都市環境学科建築環境学専攻一年生八十一名と先生四名が、瀬戸市の森林交流館及び樹木見本林を見学しました。

建築環境学専攻の学生は、地球環境から室内環境まで、身のまわりに関することを工学的な視点から学び、人間と環境全体を考える建築の新しいスペシャ



担当者の説明に聞き入る学生

リストを目指しています。六班に分れた学生は、名古屋事務所や森林交流館の職員に先導され、森林交流館では、森林の育成や保護、木材利用について、また七十五種類の樹木が植えられている見本林では、それぞれの特性や用途について説明を受けました。

見本林内で見つけたマツボックリやドングリを手に取りはしゃいでいる学生は、童心にかえたような場面もありましたが、交流館では設置してあるペレットストーブやエコトイレなどの木質バイオマスに関心を示し、質問をしていました。

最後に、「将来、建築の仕事に就いた時には、是非木材を使用して下さい。」とお願いをして見学会は無事終了しました。

年賀状のご挨拶について今年から、年賀状による新年のご挨拶については、ご辞退させて頂いたこととしまして、ご理解の程お願い致します。

なお、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

中部森林管理局